

# 東北地方 1か月予報

(6月24日から7月23日までの天候見通し)

平成18年6月23日  
仙台管区気象台発表

## ＜特に注意を要する事項＞

東北太平洋側では日照時間の少ない状態が続いています。今後も予報期間の前半を中心に日照時間が少ない見込みです。また2週目は気温が低くなるおそれがあります。農作物の管理などに注意してください。

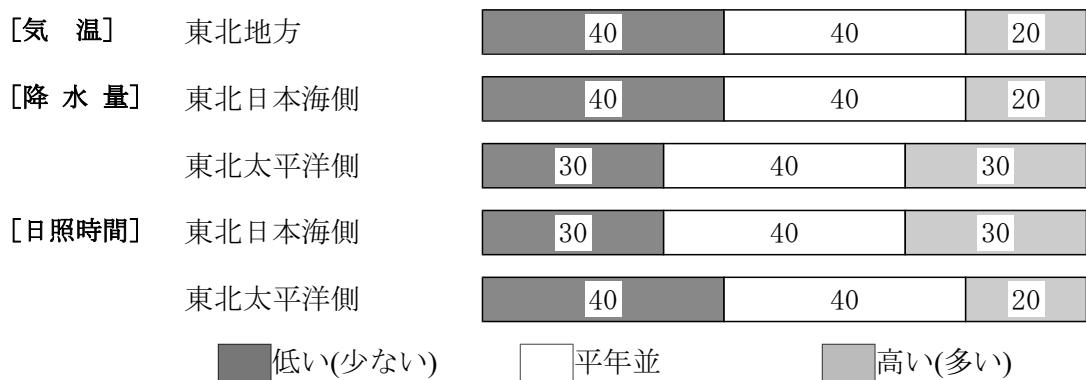
## ＜予想される向こう1か月の天候＞

前線や寒気、オホーツク海高気圧の影響で、東北日本海側では平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

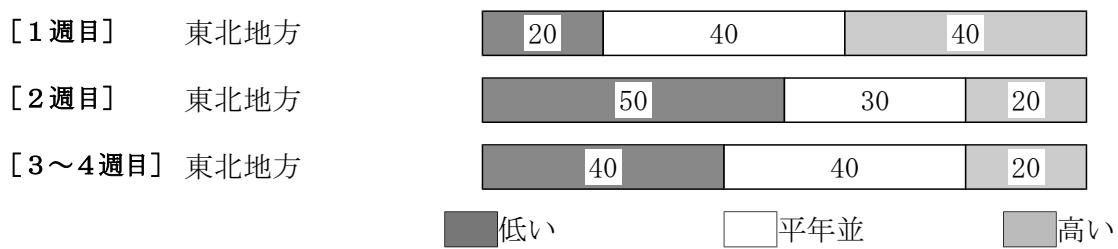
向こう1か月の平均気温は東北地方で平年並か低い、降水量は東北日本海側で平年並か少ない、東北太平洋側で平年並、日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並か少ない。

週別の気温は、1週目は東北地方で平年並か高い、2週目は東北地方で低い、3～4週目は東北地方で平年並か低いでしょう。

## ＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）＞



## ＜気温経過の各階級の確率（%）＞



## ＜予報の対象期間＞

1か月 : 6月24日（土）～7月23日（日）  
1週目 : 6月24日（土）～6月30日（金）  
2週目 : 7月1日（土）～7月7日（金）  
3～4週目 : 7月8日（土）～7月21日（金）

## ＜次回発表予定等＞

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は6月30日  
3か月予報：7月25日（火） 14時

## ＜参考資料（平年並の範囲等）＞

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

|     | 気温<br>(°C) | 降水量<br>(mm) | 日照時間<br>(時間) | 気温(°C) |      |       |
|-----|------------|-------------|--------------|--------|------|-------|
|     |            |             |              | 1週目    | 2週目  | 3～4週目 |
| 大船渡 | 19.8       | 183.1       | 134.1        | 18.3   | 19.2 | 20.6  |
| 新庄  | 21.2       | 194.5       | 134.3        | 19.7   | 20.6 | 21.9  |
| 若松  | 22.3       | 172.5       | 143.7        | 20.7   | 21.7 | 23.0  |
| 深浦  | 20.1       | 136.6       | 168.0        | 18.5   | 19.4 | 21.0  |
| 青森  | 19.8       | 94.1        | 168.4        | 18.2   | 19.1 | 20.7  |
| むつ  | 18.3       | 121.3       | 143.0        | 16.7   | 17.6 | 19.2  |
| 八戸  | 18.9       | 115.0       | 155.7        | 17.2   | 18.1 | 19.8  |
| 秋田  | 21.6       | 180.7       | 158.1        | 20.1   | 20.9 | 22.3  |
| 盛岡  | 20.6       | 158.6       | 131.8        | 19.1   | 20.0 | 21.4  |
| 宮古  | 18.7       | 143.7       | 131.8        | 17.0   | 18.0 | 19.6  |
| 酒田  | 21.9       | 192.5       | 157.8        | 20.4   | 21.3 | 22.7  |
| 山形  | 22.0       | 149.3       | 134.8        | 20.4   | 21.4 | 22.8  |
| 仙台  | 20.8       | 176.5       | 110.4        | 19.2   | 20.2 | 21.6  |
| 石巻  | 20.2       | 143.8       | 129.8        | 18.6   | 19.5 | 21.0  |
| 福島  | 22.3       | 158.0       | 114.6        | 20.6   | 21.7 | 23.1  |
| 白河  | 20.8       | 200.4       | 109.9        | 19.2   | 20.3 | 21.7  |
| 小名浜 | 20.7       | 150.1       | 128.3        | 19.3   | 20.1 | 21.4  |

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

|        | 気温平年差(°C) | 降水量平年比(%) | 日照時間平年比(%) |
|--------|-----------|-----------|------------|
| 東北地方   | -0.4～+0.4 | 86～112    | 91～109     |
| 東北日本海側 | -0.4～+0.4 | 84～113    | 90～106     |
| 東北太平洋側 | -0.3～+0.5 | 84～111    | 89～112     |

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

|        | 1週目       | 2週目       | 3～4週目     |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 東北地方   | -0.6～+0.5 | -0.7～+0.6 | -0.6～+0.6 |
| 東北日本海側 | -0.5～+0.6 | -0.6～+0.6 | -0.5～+0.6 |
| 東北太平洋側 | -0.7～+0.5 | -0.9～+0.6 | -0.6～+0.7 |

## ＜参考資料（利用上の注意）＞

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成18年6月23日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(6月24日~7月23日):

前線や寒気、オホーツク海高気圧の影響で、東北日本海側では平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側では平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

### 1週目(6月24日~6月30日):

期間のはじめは高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や前線の影響で曇りの日が多く、期間の中頃は雨の日もある見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

### 2週目(7月1日~7月7日):

寒気やオホーツク海高気圧の影響で、東北日本海側では平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側では平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

### 3~4週目(7月8日~7月21日):

前線やオホーツク海高気圧の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

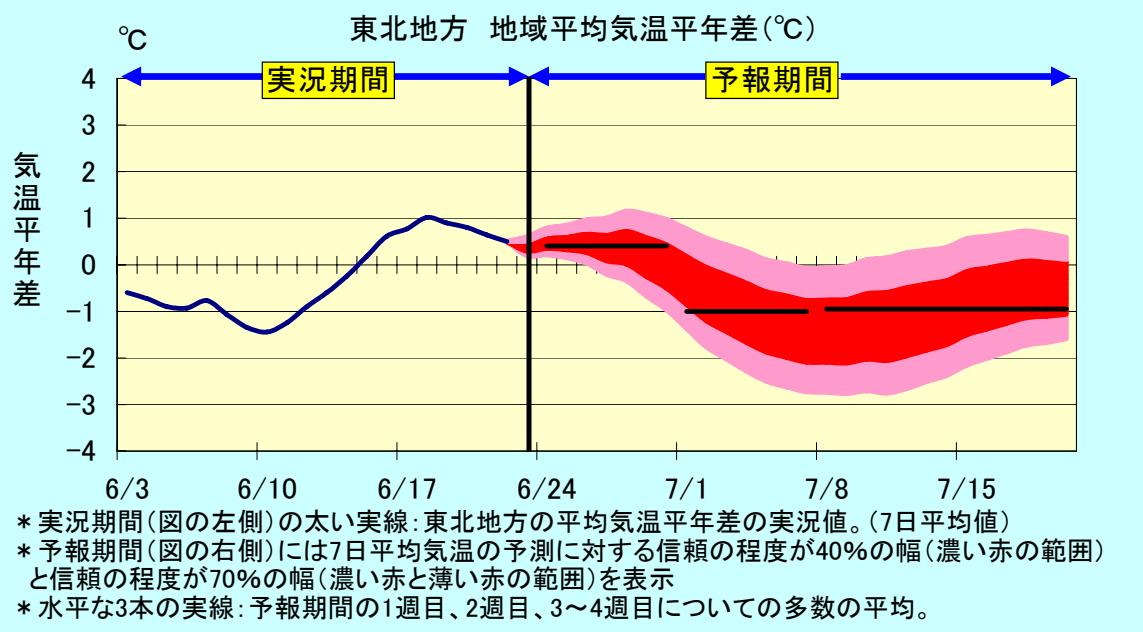
平均気温は平年並か低いでしょう。

#### 平年の晴れ日数

|        | 向こう28日間 | 1週目  | 2週目  | 3~4週目 |
|--------|---------|------|------|-------|
| 東北日本海側 | 11.5日   | 2.7日 | 2.8日 | 6.0日  |
| 東北太平洋側 | 9.6日    | 2.0日 | 2.5日 | 5.1日  |

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目を「平年並」、2週目と3~4週目を「低い」と予測している。予報は、その他の資料から1週目の東北地方を「平年並か高い」、3~4週目の東北地方を「平年並か低い」とする。なお、数値予報の信頼度は小さい。

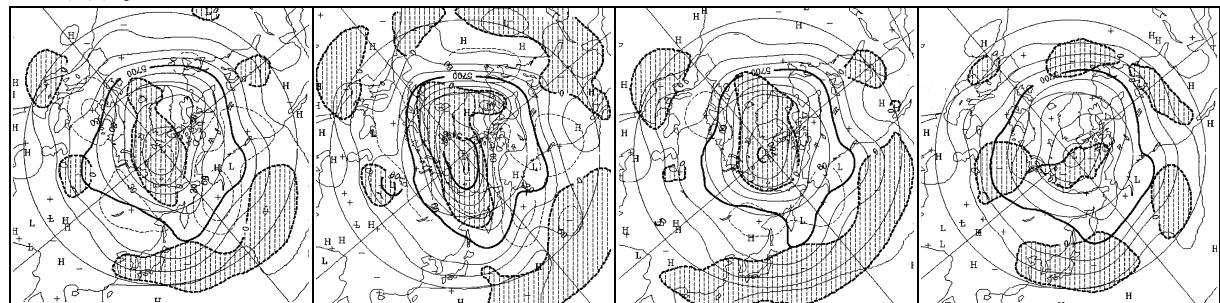


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、シベリアから北アメリカにかけて正偏差（暖気に対応）、北極及び黄海から日付変更線の東まで帶状に負偏差（寒気に対応）域が広がる。日本の南海上の高気圧は強い。

1週目は、極東域では北極と日本の南東海上が負偏差で東谷傾向。中緯度帯は広く正偏差で、正偏差の中心は日付変更線付近。2週目は日本付近は負偏差で、帶状に華南からアメリカ西海岸近くまで延びる。北緯50度～60度帯は正偏差で、中心は東シベリアにある。3～4週目は、日本付近は東西に広がる負偏差に覆われ、極東の高緯度は正偏差で、日本の南で亜熱帯高気圧が西へ張り出す。



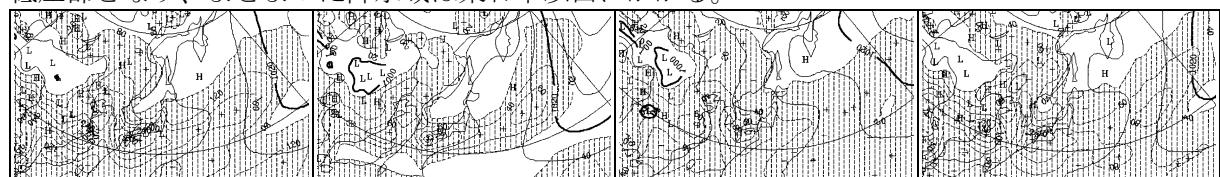
500 hPa 高度予想図（左から）1か月平均、1週目平均、2週目平均、3～4週目平均

実線：等高度線（間隔60m）、点線：平年差（間隔は1か月30m、週別60m）、陰影部：負偏差域（一般に寒気に対応）

#### 地上気圧と降水量：

月平均では、本州付近が相対的な低圧部で、東日本以西にはまとまった降水域がかかる。オホーツク海高気圧も見られる。

1週目は、まとまった降水域は西日本が中心で、東北北部は弱い。前線は日本の南岸に停滞する。2週目は、太平洋高気圧が東に後退し、オホーツク海に高圧部、本州付近に低圧部が予想される。降水域の中心は西日本。3～4週目は、オホーツク海に高圧部が見られ、本州付近を中心に低圧部となり、まとまった降水域は東日本以西にかかる。



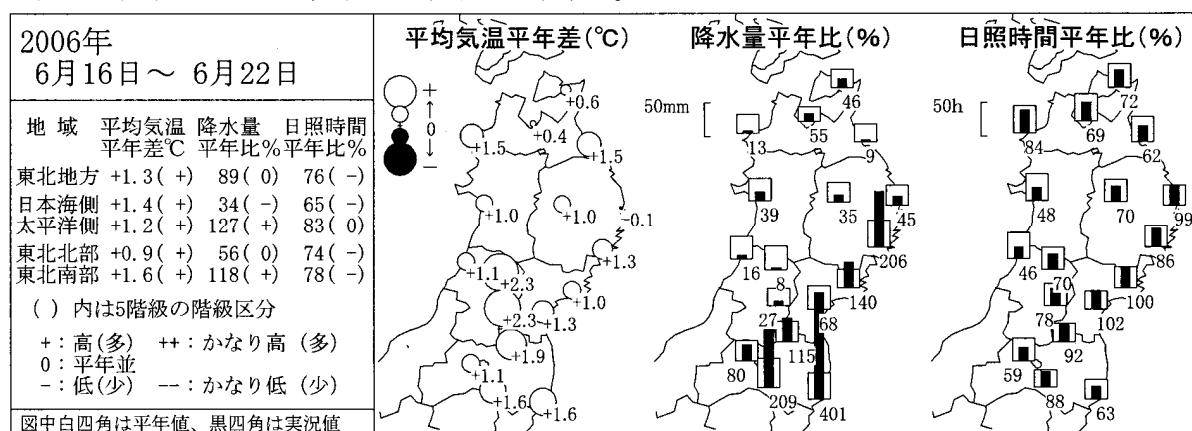
地上予想天気図（左から）1か月平均 1週目平均 2週目平均 3～4週目平均

実線：等圧線（間隔4hPa）、陰影部：降水域（1か月80mm以上、1週目・2週目20mm以上、3～4週目40mm以上）

### 4. 最近1週間（6月16日～6月22日）の天候の経過

この期間、16日は南岸低気圧の影響で東北太平洋側南部を中心にまとまった雨となり、福島県の浜通りでは大雨となった所があった。17日は低気圧が通過して天気が回復したが、18日以降は次々と通過した上空に寒気を伴う気圧の谷の影響で曇りや雨となった所が多くなった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）